

機能回復訓練

ちょっと体を動かせば リハビリ仲間の輪もできた



血圧測定で健康状態を調べます



理学療法士による1人1人に合わせた訓練の指導も行いました

市では、昭和五十八年の九月から月一回、母子センターでリハビリ相談会を行っています。これは、日ごろ家の中に閉じこもりがちな脳卒中後遺症の人たち、少しでも楽しみや機能訓練に対する意欲をもってもらうために、実施されているものです。今回は、この機能回復に役立つリハビリ相談会を紹介いたします。

リハビリ相談会には約二十人が参加。現在、新津市には、脳卒中後遺症の人が約四百五十人、世話が必要とする人が約七十人。この中で、リハビリ相談会には、毎回二十人



棒体操で軽く汗を流します



人いらっしやいます。そのうち、寝たきりの人が約九十人、世話を必要とする人が約七十人。この中で、リハビリ相談会には、毎回二十人前後の人が参加し、楽しい一日を過ごしています。

歌やゲームでなごやかな雰囲気。リハビリ相談会では、理学療法士が参加者の一人ひとりの病状に合わせて、家庭でできる機能回復訓練の指導を行ったり、棒体操、竹踏み、レクリエーションなどを行っています。レクリエーションは、歌やゲームが中心です。少しぐらい調子がはずれても大声で歌ったり、ゲームに熱中したりしているうちに、参加している人たちの顔に笑いが見られるようになりました。また、回を重ねるたびに、お互いの病状を気づかったり、運動の方法を教えあったりして、参加者同士の交流も深まっています。



みんなで楽しくレクリエーション(ボウリング(上)と輪ゴム送り(下))

右手がだめなら左手を使います。今年は、初めて年賀状づくりに挑戦しました。手が麻痺しない人も、孫や友達に書いて、一生懸命手紙を書いていた。三ページの左側に紹介した年賀状は、右手が麻痺して使えないため、左手で書かれたものです。なお、冬を元気に乗り切ってもうらやませ、今月は、忘年会も計画されています。

このリハビリ相談会は、来年も四月から行われる予定です。リハビリ相談会について、何か知りたいことがありましたら、市役所保健課係(☎24-2111内線206、212、215)へご連絡ください。

待ち遠しいリハビリ相談会

金沢町三 鷲尾虎二

一か月に一回の待ち遠しいリハビリ相談会が近づくと、毎日の生活にも元気が出てきます。

リハビリ相談会は、午前十時、母子センターに集まって、血圧測定、棒体操、竹踏み、手芸、レクリエーションなどを行っています。

昼食のときは、各自で持参した弁当を食べます。みんなでいっしょに食べるので、おいしさもまた格別です。そして、母子センターには、機能訓練をするための器具として平行棒、自転車なども設置されており、とてもありがたいと思っています。また、理学療法士による診

察は、一人ひとりが受け、毎日の機能を保持するために、運動の指導も受けることができます。

このほかにも、グリーン

患者とともに参加して

田家二羽生キヨ

リハビリ相談会に参加するように、保健婦さんに勧められたのは、今から二年半くらい前のことでした。主人は、脳梗塞による失語症で、劣等感を持っていた。やがって前にもう一度、私が通訳を兼ねて同行するということ

センターで相談会をしたことも、思いに残っています。今月は、忘年会も計画され、参加者同士の交流も深まってきたようです。私は、これからも周囲の人たちの期待にこたえるため、努力していきたいと思っています。

に参加しました。ありがたいことに、バスで送迎してくれたり、保健婦さんが同乗して、歩行が困難な人がいたときには、介護もしてくれました。

リハビリ相談会では、血圧測定、症状によるグループ別の運動、レクリエーションなどを行いました。患

楽しみなりリハビリ相談会

北上二 神田 実

私は、言語障害のため、話すことが不自由です。私の言おうとすることを、第三者に伝えようとしても時間がかかり、自分でもどこかしく思うほどです。仕方がないので、家の人などとは、あまり話さないようにしています。

また、冬、屋根の雪降ろしをしたときに、屋根から落ちて、左足のつけ根の骨を折ってしまいました。今でも釘でとめてあります。そのた

が痛々しく見えますが、本人は、にこにこして、ほっとさせられました。参加者の人たちの意外と明るい、元気を様子を見て、病気には負けなない」という心意気を感じました。

主人も、リハビリ相談会に参加するようになってからは、とても元気がなり、言葉が人に通じなくても、大きな声で話しています。これからは訓練に励み、少しでも機能が回復するように努力していきます。このことが、周囲の人たちの期待にこたえることになると思っています。

謹賀新年

昨年中はリハビリ指導員大変に
ありがとうございました
今年もよろしく
おかわいひます
ふた二年元旦



右手麻痺のため左手で書いた年賀状



今年、初挑戦した年賀状づくり

私は、言語障害のため、話すことが不自由です。私の言おうとすることを、第三者に伝えようとしても時間がかかり、自分でもどこかしく思うほどです。仕方がないので、家の人などとは、あまり話さないようにしています。

また、冬、屋根の雪降ろしをしたときに、屋根から落ちて、左足のつけ根の骨を折ってしまいました。今でも釘でとめてあります。そのた

め、歩くことも不自由ですが、三輪車に乗って用事をたすことはできます。

リハビリ相談会は、月に一回、母子センターで開かれています。私は、この相談会に参加して、理学療法士の先生に訓練のやり方を教わったり、保健婦さんや参加者の人たちといっしょに機能訓練を受けたら、レクリエーションをしたりしているときが一番楽しいと思います。

お買物、ご用命は市内で

お買物、ご用命は市内で

贈答品・美術品
中野せともの店

本町4丁目 22-1086

内科・小児科・レントゲン科

大坂医院

新町1丁目6-12 TEL(24)5122

第26回 輝きのファンタジー 商店連売出し参加店

宝石展示会

11月28日~12月3日

時間AM9:00~PM8:00

会場 **野本時計店**

本町3丁目 TEL 22-0070(代)

年に一度の宝石まつり
皆様お揃いでお出かけ下さい。
お買得品がイッパイ。予約も承ります。

ダイヤモンド・ショップ